

季節のことば

自慢じゃないが、炬燵が好きだ。何たって日本が世界に誇る暖房である。

炬燵に入ってぬくぬくと蜜柑を食べるのが日本の正しい正月である、と断言したい。

ただし、いったん入ってしまうとなかなか出にくく「こたつ弁慶」となる。炬燵にだけ強い寒

がりで、外に出れば、からっきし弱い「内弁慶」ということでもある。

もともと、炬燵には色っぽい役目もあって、男女がそっと手を触れ合ったりして、いい仲になる場合もある。「こたつは色のなこうど人」ということわざもあるようで。

こたつはやっぱりいいですね。

Mikasa NEWS

三笠ニュース

PR 旬報・年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411 代表 三笠 三郎 03(3233)0530



タンピングランマー話題の2方式登場

ランマーの原動機といえば2サイクルガソリンエンジンが一般的ですが、混合燃料を作る作業に手間がかかります。またガソリンと2サイクルオイルを混ぜた混合燃料は長時間の保存がきかず作りおきが出来ません。

三笠ではこの混合燃料問題についてお応えすべく、今回2方式5機種のタンピングランマーを発表させていただきます。ひとつは従来の2サイクルエンジンの軽量コンパクト、

そして優れた耐久性をそのまま生かしたオイル分離給油式2サイクルガソリンエンジン搭載のタンピングランマーMT-HSシリーズです。もうひとつは現場の燃料管理と保守性を容易にし、輾圧力と耐久性を重視した空冷ディーゼルエンジン搭載のタンピングランマーMT-Dシリーズです。

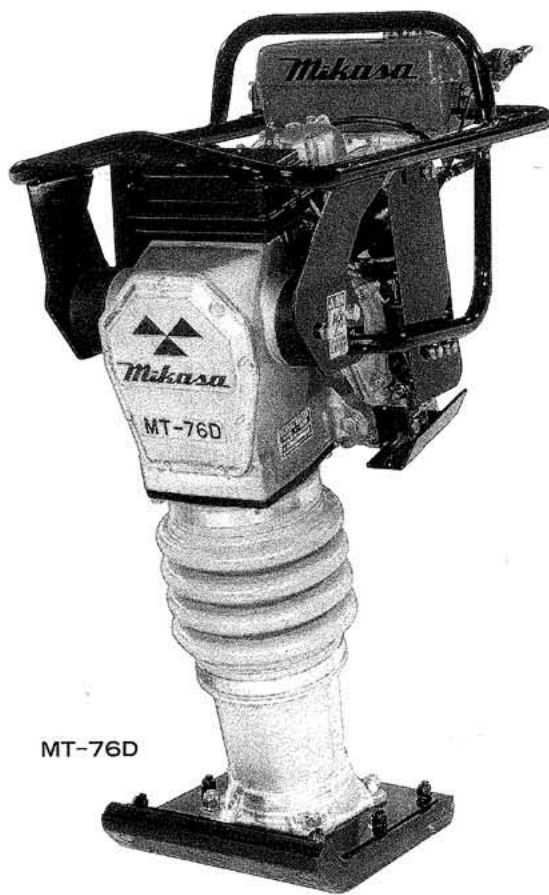
このふたつのランマーについて次ページで詳しく説明させていただきます。



MT-63HS

分離給油式

世界初!



MT-76D

空冷ディーゼルエンジン搭載

ホームページ開設……

三笠では12月1日よりインターネット上にホームページを開設いたしました。このホームページはAT&Tの大容量バックボーンに直結した米国シリコンバレーの専用サーバーに置かれ、世界中のどこからでも快適なアクセススピードを保証しております。もちろんこのサーバーは東京の本社内サーバーとも直結され、全ての情報は東京からコントロールされています。

現時点ではいくつかの新製品の紹介と会社概要などが主ですが、今後は内容を充実し、新製品情報をいち早く日本を含む世界中のディーラーやユーザーに提供したいと考えております。

また、世界各国からの資料調達をはじめ、取引先との情報交換や人材採用にも活用範囲を広げる計画です。

この三笠ニュースの記事もネット上で読めるようになる日も遠くはありません。今後ますます充実する三笠ホームページにご期待下さい。



ホームページアドレス
<http://www.mikasa.com>

新春随想

代表取締役社長
京谷達也



謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。あわせて、旧年中のひとかたならない御愛顧お引き立てに心からのお礼を申し述べます。私ども三笠産業が順調な業績を上げていますのは何と言っても御支援下さる皆様からの賜ものであり、強く深く感謝せずにはられません。

さて「新春随想」でございますが静けさに包まれた日溜まりでブランデーを掌に暖め、相変わらず趣味の読書と音楽、飽きれば庭に出て無為の時を過ごすことになるでしょう。ちかごろ新版の『寺田寅彦全集』が発刊されると聞き、そぞろ懐かしいわが青春レトロに誘われ古い初版本をとり出して開くと、ふとこんな文章が目にとまりました。

『世界は循環する。するといちばん遅れるものが結局いちばん進んでいることにもなる』と言うのです。

『科学者が利口になると科学は進歩を中止する。科学者は永久にばかりでありたい』とも。私は調子に乗って懐かしい『蒸気皿』『触媒』『螢光板』などパラパラめくり、半世紀にもなる昔の書籍でありながら時代を超えた新鮮なエスプリに引き込まれていました。さあ、今年の正月は寺田寅彦の静かにゆらめく科学随想と文芸の味を楽しみ、又ひらめきがあれば物理と技術の本質についても考えてみようと思いついたのです。寺田寅彦はペンネーム吉村冬彦ですから冬場の読み物にもふさわしいではありませんか。

本の紹介になってしまいましたが私たちが製品の一点一点の見直しや創意工夫を重ねるための大きなヒントを含んでいることもここに付け加えましょう。新しい年が三笠にとってさらなる躍進の年になるよう、皆様の一層の御支援をお願いして年頭のご挨拶といたします。

MT-50HS/63HS/70HSタンピングランマー(分離給油式)

ランマー本体については従来よりご愛顧頂いておりますMT-Wシリーズ(MT-50W, 63W, 70W)と同じですが、HS型は世界初の分離給油式のエンジンを直結して動力としているのが最大の特長としています。

分離給油式2サイクルエンジンは燃料(ガソリン)と潤滑油(2サイクルオイル)をそれぞれ専用のタンクに入れ、エンジン内部で混合し混合燃料となる2サイクルエンジンです。従って二つのタンクにガソリンと2サイクルオイルを規定の量入れるだけですみますので大変便利になりました。さらに機体を倒した場合などエアクリナーエレメントにはオイルが付着しませんので、目詰まりによるトラブルも少なくなりました。またオイルタンクにはオイルレベルセンサーを装備しています。オイルの残量が規定レベルより下回るとエンジンは停止し、オイル切れによるエンジントラブルを未然に防ぎます。

オイル分離給油エンジンのシステムについて説明します。燃料のガソリンは従来通りキャブレターからエンジンの燃焼室に導かれます。一方オイルタンク内のオイルはエンジンの出力軸に取り付けられたプランジャーポンプにより吸い出されます。そしてキャブレターの後ろで噴油されガソリンと混ざり燃焼室に導かれます。

強力な輾圧と優れた操作性、そしてご好評を頂いておりますダブルクリーナーなど保守、耐久性に優れたMT-Wシリーズをさらに使い易く致しましたMT-HSシリーズを是非ご愛用下さいますようお願い申し上げます。

MT-76D/86Dタンピングランマー(空冷ディーゼルエンジン搭載)

MT-76D/86Dタンピングランマーはランマー専用として開発された空冷ディーゼルエンジンを機体に直結搭載したタンピングランマーです。安定した機体で強力な輾圧力を必要とする現場には耐久性にも優れたディーゼルエンジンが適しています。

一般的な作業現場ではランマーは混合燃料、プレートはガソリン、重機は軽油

QUIZ クイズ VOL.24

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、正月にちなんだ言葉が浮かびます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ

ア. その季節に初めて出来た野菜・穀類・果物など。〇〇〇〇食い。
イ. パッケージの〇〇〇〇を読む。
ウ. 金銭などを人に贈るときに入れる紙袋。
エ. 私事に関する憤り。一公憤
オ. 南アジア産の木材。加工しやすいので家具や装飾材に使われる。

タテのかぎ

A. 心中の感情を虫にたとえた言い方。〇〇〇〇〇〇がおさまらない。
B. 定期試験が不合格だったので〇〇〇〇を受けた。
C. アルプスの最高峰。シャモニーはこの山の麓の町。
D. カナダのオンタリオ州の州都。オンタリオ湖の北西岸に位置する。
E. 畑に植える落葉樹。葉は大きくカイコに食べさせる。

ア	イ	ウ	エ	オ
4	5			D
			2	E
			オ	3
エ	1			

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集部

●締切り 1997年2月10日(印刷有効)

VOL.23の答えは「シチゴサン」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

斉藤輝男様(松本市) 上野香子美様(豊中市) 山田昭夫様(村上市) 浅野麻由美様(南秋田郡) 清水千枝子様(長野市) 岡本瑞絵様(三笠市) 佐藤洋子様(横浜市) 飯高幸枝様(茂原市) 岩井修様(富岡市) 初鹿芳子様(南巨摩郡)

松・眞常木
マ ツ

へ年の始めの例(ためし)とて、終りなき世のめでたさを、松竹たてて門ごとに……。明治26年に指定されたという祝祭歌。昔はよく愛唱斉唱されたものです。どうやら今の子どもたちには古くさい前世紀のメロディーとしか聞こえないかも知れません。

でも、松はお正月のシンボル。これだけは昔も今も変わらない。奈良平安朝のころ「小松引き」という行事があり、

正月の山野に出て松の枝を引いてきてその新芽を食べたりしています。また平安後期にはかなり一般化しており「今朝はみな門松立てならべ祝うことめづらなる」と詞書(ことばがき)した和歌が見えます。

松。マツの語源について調べてみましょう。まあ驚くほど色々な説がありました。言語学者でもないドシロウトの記者は、当てずっぽうに語呂合せして、月給日を待つ、ボーナス日を待つ等とつぶやいて「松」は「待つ」ナリの説を思いついたのですが、なんとこれが有力な一説に入っていたから驚きでした。まずはじめに広辞苑でみると、

松は神がその木に天降ることを待つ意とする説。また一説には葉が二股に分かれるところから股(マタ)の転じたもの、と二つの説があります。

松を待つにかけたことは源氏物語の明石上(あかしのうえ)が恋しい源氏にささげた歌「かわらじと契りしこと

そしてオイルはそれぞれに適したオイルと6種類も用意しなければなりません。中でも混合燃料は混合割合などが機械により異なる場合もあり手間がかかります。タンピングランマーにディーゼルエンジンを搭載することにより燃料とオイルが重機と共用可能となり現場での燃料管理が容易となりました。さらにタンピングランマー本体の潤滑油もディーゼルエンジン用を使用していますので保守も便利です。

またエンジンの両サイドと下方を保護するプロテクターを設け溝の中でも安心して作業が出来ます。

このように、強力な輾圧と安定した機体そして維持管理に優れたMT-76D/86Dタンピングランマーをご使用下さいますようお願い申し上げます。

仕 様

エンジン呼称		分離給油式2サイクルガソリン			ディーゼル	
機体型式		MT-50HS	MT-63HS	MT-70HS	MT-76D	MT-86D
機体の寸法	全高	980mm	990mm	1050mm	1010mm	1070mm
	全幅	390mm	410mm	410mm	410mm	410mm
	全長	705mm	715mm	715mm	745mm	745mm
装備重量		54kgf	66kgf	76kgf	80kgf	92kgf
衝撃板の寸法	幅	265mm	285mm	330mm	285mm	330mm
	長さ	340mm	340mm	340mm	340mm	340mm
衝撃板のストローク		50~75mm	50~85mm	65~95mm	50~80mm	50~75mm
打撃数		600~675打/分	630~660打/分	630~670打/分	650~700打/分	650~700打/分
打撃力		毎回750~1000kgf	毎回1000~1300kgf	毎回1800~2000kgf	毎回1400~1600kgf	毎回1900~2000kgf
使用エンジン	メーカー	ロビン			ヤンマーディーゼル	
	名称	分離給油式2サイクルガソリン			空冷4サイクルディーゼル	
	型式	EC-08HS			EC12HS	
	最大出力	3.3PS/5500rpm			4.2PS/3600rpm	
	燃料	無鉛ガソリン			JIS 2号軽油	
	潤滑油	2サイクルエンジン用オイル			ディーゼル用CD級以上 SAE10W-30	

平成8年三笠親和会
薩摩半島・桜島と
指宿温泉の旅……

前回の親和会はグルメ食べ歩きとショッピングの香港旅行。今回は社員全員集まって砂蒸し風呂に入って、薩摩料理とイモ焼酎でグ・グ・グイっと大宴会を合言葉に、9月27日羽田空港に各地より大集合し、2班に分かれ鹿児島空港へ飛び立ちました。

到着ロビーを一步出るとそこは南国、長袖で来たことを後悔するほど強い日差しで私たちを迎えてくれました。鹿児島空港から観光バスにて大隅半島側より桜島に、「鹿児島市内どこからでも桜島は見えます。」と言うバスガイドさんの話の通り、車窓からはいろいろな姿の桜島を見ることが出来ました。桜島は錦江湾に浮かぶ火山島とばかり思っていたが、大正時代の噴火時の溶岩で大隅半島と地続きとなったとのことで、今では海を渡らずに訪れることが出来るようになりました。

た。この日は幸いにも噴火も無く、穏やかな桜島が私たちを迎えてくれ、展望台にて溶岩が作り出した雄大な景観をバックに記念写真を撮りました。フェリーで対岸の鹿児島港に渡り一路指宿温泉のホテルへと向かいました。

宿に着いた途端に浴衣に着替えて名物の砂蒸し風呂へ、ほとんどの三笠社員が詰めかけた為、定員50名の砂風呂はたちまち満員になってしまいました。

メインイベントの大宴会は京谷社長挨拶、副社長の乾杯の音頭で一次会、二次会と深夜までイモ焼酎でグイッと……ウェーと……果てしなく続きました。

二日目、知覧特攻平和会館で太平洋戦争の特攻隊員の関係資料を見学。その後かつて島津家の別邸であった磯庭園を見学し、城山展望台に登り眼下の鹿児島市街と、対岸の桜島の絶景に別れを告げ、たくさんのお土産とともに再び鹿児島から羽田へと、一泊二日の駆け足の旅でしたが楽しく充実した旅行でした。

生産管理部資材課 鈴木記

を頼みにて、松のひびきに音を添えしかな」が代表的です。恋多き男、悪く言えば色事師の源氏は紫上(むらさきのうえ)に嘘をついてようやく明石上の邸を訪ねました。彼女は胸も大きくふくらんでひととき美しくなっていました。はにかんでいる姫を源氏は優しく強く抱きしめる。

その夜、月のあかりで琴を奏でながら「ちぎりしに変わらぬことのしらべにて絶えぬ心のほどは知りきや」と源氏が歌います。約束した時と変わらない琴の音で、私の変わらない愛情がわかりましたか、というのです。すると彼女はまだピンクにはてる頬のまま、

変らじとちぎりしことを頼みにて松のひびきに音を添えしかなと返歌します。愛は変わらないと貴男は約束なさいました。その言葉だけを頼みに、私は待ちながら松の音に合せて琴をひいておりましたのよ、という訳です。いやあ何とも羨ましい。

昔から名高い須磨・明石海岸の白砂青松…なるものを、田舎ものの記者は見たことがありませんが今日でも健在なのでしょうか。高砂の松、住吉の松、尾上の松など名木として語り残されているそれらも一度は見たいのですが。

語源説を続けます。

「この木を門に飾りて幸が来るのを待つ」の説は新村出博士。貝原益軒は「久しく寿を保つ」からタモツが縮まってマツとなりと。新井白石は「霜雪をわたりて色変えることなし」で眞常木(まのとき)マツノキと云う。賀茂真淵も眞常木・常緑木の説を支持しながらも古語にて「マ」は群がる「ツ」は突の義なり、すなわち松葉の針のごときを云うと説いています。

やがて花粉の季節。似たような花粉でも杉は悪役、松は無罪は日本人の古来の松信仰があるからでしょうか。とまれ本年の一層の幸せと好況を待つといたしましょう。



金子武生(かねこたけお)
昭和24年1月23日生まれ
海外営業部一課

- ① おっとり、のんびり、でんと構えている、辛抱強い、美味しいレストラン、人の為になっている。
- ② 一日中こき使われている、農場でいつも放牧されのんびりしているという思いがある。
- ③ 自分自身ではない。
- ④ 自分自身で決められることでないので影響するか、良かったかどうかはあまり関係ないと思いますが、12年に一度の自分の干支でもあり、大事にしたいと思っています。
- ⑤ 今年も健康で一日三食(快食・快便・快眠)自分の仕事がミス無く、上手くいくようにと心がけます。



郷古邦明(ごうこくにあき)
昭和24年5月21日生まれ
コンピュータ室

- ① もっさりした家畜のイメージ。ステーキやしゃぶしゃぶ、乳製品を連想します。
- ② 農場で見かけるのは雌牛ばかりですが、子供の頃に種牛をまじかで見えてその大きさと迫りにビビった事があります。実に立派ものをぶら下げていました。
- ③ 特に意識したことはありませんが、お酒はあまり飲めないのでもなくともトラには成りそうもありません。
- ④ イメージ的にはちょっと地味ですが、力強さや粘り強さを感じ良かったと思っています。
- ⑤ 人生の一つの区切りであり、自分の生き様を見直す良い機会だと思っています。干支は変えられませんが、同じ牛でも家畜ではなく、活力と行動力のある野生のバイソンやバッファローのイメージで公私ともに励んでゆきたいと思っています。



伊藤隆夫(いとうたかお)
昭和24年10月11日生まれ
第二技術部

- ① 昨今は狂牛病とやらでイメージはマイナス気味。日常はおとなしいが、一旦事あると闘牛の牛となり恐ろしい。
- ② 出張で神戸に泊まったとき、神戸＝ステーキという話になり、出張費に見合うステーキ屋を探し、値段相応のステーキを皆で食べた。我が胃袋は足りないと言っているの帰りにラーメンを食べた。後に残ったものはラーメンの味。教訓、目的を持って食べるなら満足するように食べること。
- ③ どう行動しようかと考え実行する時。自分の内には全ての干支が居るようです。普段はじっとまわりを見つめ、いざと言う時は他を蹴散らしても走ると言う性格は私の内にもあるようです。
- ④ 他人を見ると、干支と性格のイメージが合うと感じられる時があり、干支はうまく作られたものだと思います。自分の干支は嫌いではありません。

新春吉例 三笠アゲント

【質問】

- ① ウシにどんなイメージを持っていますか
- ② ウシにまつわる思い出はありますか
- ③ 自分の性格にウシ年生まれを感じることはありますか
- ④ エトが人の性格に影響すると思いますか自分のエトがウシで良かったと思いますか、それとも他のエトが良かったですか
- ⑤ 年男年女としての抱負をお願いします。

⑤ 今年是不断の牛となり、仕事、日常生活ともに、よくそしゃくし、新たなチャレンジに結び付けたいと思っています。



倉田 実(くらたみのる)
昭和24年12月19日生まれ
営業サービス部部品課

- ① のんびり、ゆっくり、マイペース。
- ② 小学生の頃、我が家では牛を飼っていました。土手の草を刈って与えたり、小屋から連れ出して裏の木につないだり、たまには背中に乗ったりして遊んだ楽しい思い出があります。
- ③ 十二支の中では牛が一番近い性格だと思います。
- ④ 思いません。
- ⑤ 遊びで始めたソフトボール。今年で3年目。去年は町の大会で優勝し、県大会に出場して緒戦にて無惨にもコールド負け、今年は弱いピッチャーを強化して県大会一勝を目指す。(ちなみに小生は監督)



紺野春彦(こんのはるひこ)
昭和36年1月9日生まれ
第二技術部

- ① 牛に抱くイメージは、田畑を耕し黙々と働く状況や競りに掛けられ売られ食用として売られて人の食欲を満たす等がイメージされ、性格的には着実に物事を押し進めるような感じを受けます。
- ② 自分自身の思い出としては記憶にないのですが、無き父がたの実家が肉屋を営んでいたそうで、私自身が幼少の頃に牛の解体作業を見せられた夜に牛肉を美味しそうに食べていたそうです。現在に至っては牛肉は特に大好きな食べ物のひとつです。
- ③ 何か物事に取りかかる時などエンジンの掛かりが遅く動き出すと満足できる所まで来ないと気が済まないというような感じがします。
- ④ 干支が人の性格に影響するとは考えられません。この世に生を受け親に育てられていく家庭や生活環境が大きく作用すると思います。丑年として生まれたお陰で、今現在自分自身にかかわる人々と良くも悪くも知り合えたことが財産になっていると思います。
- ⑤ 丑年の年男としてまた父として、2月4日に我が家に二人目の男の子が誕生する予定です。なお一層仕事や家庭に男としてまた一家の主として力強く進んでいきたいと思っています。



大久保剛志(おおくぼたけし)
昭和36年4月2日生まれ
営業サービス部サービス課

- ① 牛というときまず焼肉と牛乳が思い浮かぶが、他に食事をした後すぐ横になると牛になるとよく言われた。また闘牛的に突進すると言うことが浮かんだ。
- ② ウシはウシでも丑。私だけではないと思いますが丑というと土用の丑の日が来ると鰻が食べたくになります。でも食事をする草も眠る丑三つ時でもないが、丑の刻はやはり眠りたくなる。ウシのせいかな。
- ③ 特にありません。
- ④ 特にないが多少は干支が感じられる人もいます。
- ⑤ 以前ゴルフをしていたが、やめて6年たち今年からまた練習を再開することにしたのでゴルフをする人は声をかけて下さい。指導をお願いします。



森田紀子(もりたのりこ)
昭和48年5月2日生まれ
品質管理部

- ① ウシはどちらかというと「のんびりして腰が重い」というイメージがあります。
- ② 高校時代に、ある牧場で牛の赤ちゃんが産まれる瞬間を見たことがあります。そのときに生命の偉大性を感じました。
- ③ 私の性格は何事ものんびりしているので、ウシ年生まれだなと感じることはよくあります。
- ④ もし他の干支であれば少し違った性格になっていたように思います。
- ⑤ 今年は何事にもチャレンジをして効率よく仕事をこなしていけるように自分なりに努力したいと思います。



矢野江(ししどともえ)
昭和48年10月1日生まれ
生産管理部資材課

- ① 動作がのろい、にぶい、くさいなど。
- ② 小さい頃、顔をなめられて大泣きしたことを覚えています。
- ③ 特に感じたことはありませんが私の性格を知っている人ならきつとおとなしい牛ではなく闘牛を連想すると思います。
- ④ 影響している人もいます。自分で選べるのならもっと愛嬌のある干支が良かったです。
- ⑤ 仕事面でもプライベートでも自分のやりたい事を積極的にチャレンジしていきたいと思っています。



夢沼美保(たてぬまひろ)
昭和48年10月3日生まれ
営業サービス部

- ① 良く食べて寝る。でかい。
- ② 小さい時、牛のちちしほりのおもちゃがすごく欲しかったのに買ってもらえなかった事です。
- ③ 良く食べて寝るところと、「モーやだ」、「モームカッ」とか普段よく「モー」という言葉を使うのでやっぱり私ってウシかななんて思います。
- ④ すると思います。ウシ年で良かったと思います。
- ⑤ ことしは仕事の面でもプライベートの面でもいいことがたくさんあるようにいろんな事にGANBAりたいです。



前林布貴江(まえばやしいくえ)
昭和48年12月10日生まれ
第一営業部札幌課

- ① “ウシ”と言えば食べては寝て、食べては寝て…。うらやましいかぎりです。
- ② 特にありません。
- ③ 「モー、モー」よく文句を言うところは、もしかすると干支が関係しているのかもしれない。
- ④ 少しは影響していると思います。
- ⑤ 今年こそ一人で車が運転できるように頑張ります。(とりあえず雪が融けてから……。)



小林 光(こばやしひかる)
昭和48年12月22日生まれ
第一営業部高崎課

- ① 肉、牛乳、闘牛。
- ② 特にない。
- ③ 特に感じない。
- ④ 何かと人の役に立っていると思うのでウシ年でよいと思う。
- ⑤ 仕事、遊び、スポーツ、お金全てに関して最高の年にしたい。



(株)レンタルテオー 本社新社屋が完成



北海道では、このところ開祖100年を記念して各地域で記念行事を開催している。

その歴史ある港町函館市の隣町七飯町にてレンタル業を営む(株)レンタルテオー様(社長・小笠原潔殿)が、去る10月1日、本社・工場を同じく隣接する亀田郡大野町の工業団地内に新築移転され、大野町長など関係者多数を招いて新築落成パーティーを執り行われた。

(株)レンタルテオー様は、平成3年9月設立と業歴は浅いものの、本社と八雲町、奥尻町の3拠点で営業されており、業容拡大に伴い本社が手狭になったことからこの度本社・工場の新築移転となったものである。

新社屋は、国道227号線、通称大野新道に面した非常に立地条件に恵まれたところにあり、敷地面積1,000坪に鉄骨平屋建て約380㎡の事務所、工場が配置されている。

(株)レンタルテオー様は、日頃よりバイブレーターをはじめランマー、プレート、振動ローラー等三笠製品を多数ご採用いただいております。北海道三笠レンタル会の会員でもあります。小笠原社長は、ユーザーニーズに対応した商品供給とスピード化に努力し、得意先への信頼を高めたいと意欲的です。

札幌課 丸山記

積み上げよう未来を… (株)ワキタ'96合同建機展

(株)ワキタさんでは10月5日、6日の二日間、東京晴海埠頭の隣にある豊洲埠頭の東京ガス内特設会場で関東甲信越のお客様を対象として「積み上げよう未来を、21世紀に向けて」をキャッチフレーズに'96東京合同建機展を開催されました。

約2,000坪の広さを持つ会場に102社の建設関連メーカーをはじめ家電、音響、OA関連、建設資材が展示され盛況な展示会となりました。

また会場に隣接した所で特殊機械の実演会も行われ、関係業者の注目を集めました。レンタル業者さんをはじめ建設業者さん、特約店さん等、二日間で予定されていた約2,500名が来場され、会場に熱気が感じられました。このような雰囲気の中受注金額も目標設定をほぼ達成できる見通しが出来たようであります。

三笠コーナーにおきましては、話題の4サイクルガソリン、ディーゼル、分離給油の各エンジンを載せたランマーや人気の前後進バイプロシリーズ、一歩進んだ設計の新型インバーターを全面に展示したことにより、注目度が

高くそのためにご質問も多く寄せられました。

一方西日本地区に於いては10月5日、6日に福岡県久留米市の久留米100年公園にて。10月19日、20日に大阪府の舞浜スポーツマリンランドで開催され、それぞれ盛況を博しました。

おかげさまで数多くのご成約を頂きましたことは、この展示会に力を入れてこられた(株)ワキタさんのおかげと感謝しております。

(株)ワキタさんの今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

東京一課 神田記



東京



大阪

(株)カナモト秋田営業所 新築移転落成式開催



株式会社カナモト秋田営業所(所長・都丸勝彦氏)さんにおかれましては10月11日新社屋を新築移転され関係各社をお招きして落成式を開催された。

新社屋は今までの社屋に程近い秋田工業港の一角に建設され、敷地面積16,882㎡(約5,115坪)という広大な敷地内に二階建ての事務所棟(延床面積418.25㎡)と倉庫棟(延床面積2,423.84㎡)があり、また大型機械のヤードは7トンの門型クレーンを筆頭に4.9トンが1基、2.8トンが2基の合計4基が設備され、また倉庫内にも4.9トンと2.8トンのホイストクレーンが設備されている。まさに大型機械から小型建機までユーザーニーズの多様性に即対応できるシステムである。

秋田営業所はまた同時に(株)カナモトさんの日本海事業部の拠点ともなっている事業所であり、日本海側の営業戦略の要を担っている営業所である。田仲事業部長さんも常駐しており、今後益々の発展が期待される。

落成式当日は金本社長様も出席され、弊社からは京谷副社長と小生がお招き頂き親しくお祝いを申し上げ歓談させて頂いた。

新住所 秋田市寺内字神屋敷295-16

電話 0188-88-2040

仙台営業所 松沢記

和興産業株式会社 35周年記念展示会を開催



静岡県東部地区の代理店和興産業さん(本社・静岡県三島市谷田雪沢173-2社長・高島博行氏)におかれましては、去る10月25日(金)、26日(土)の両日「和興祭り」と銘打った展示会を開催されました。

国道1号線を箱根から三島に向かうと、右手に美しい富士山の姿がまず目に入って来ます。そして三島市街にはいると、すぐに和興産業さんの近代的な本社ビルが目に入ってきます。和興産業さんは、本社を中心に御殿場、伊豆、富士等静岡東部地区に営業展開をなさっており、今年で創立35周年を迎えられました。「和興祭り」はその最大のイベントとして行われた。

秋晴れの広がる10月25日(金)高島社長の「和興祭りでは、売ることよりもお世話になっているお客様に取扱い商品、特に新製品を見て、触って、楽しんで頂くことが大切。」との挨拶で、和興祭りが開会しました。

平日なのでお客様の出足がどうかと心配する声も聞かれましたが、午前中から多くの来場者があり、さすが「和興さん」と、あらためてその営業力に感心させられました。

多くのメーカーの様々な商品の展示、また実演もあり、さらには抽選会と工夫を凝らした会場内は大いに盛り上がりしました。そして三笠コーナーもバイプロコンパクター等、新製品のデモンストレーションが功を奏したのか、大いに賑わい数多くのご成約を頂きました。会場全体も同様に成約の札が随分貼られている状況になり大盛況のうちに終了されました。

静岡課 和泉記

(株)宇建 秋晴れの下 '96年大感謝祭建機展開催

栃木県に於いて、永年三笠の代理店としてご活躍されており、また東京三笠レンタル会員として多大なるご協力を頂いております(株)宇建様(本社・河内郡河内町白沢1825-2社長・森田藤伸氏)に於かれましては、昨年10月26日(土)、27日(日)の二日間にわたり1996年大感謝祭建機展と題しまして2年ぶりに展示即売会を盛大に開催されました。

毎回天気が心配される中、当日は秋晴れの広がる絶好の展示会日和となり、早朝より多数のお客様が入場されました。場内には約50社のメーカーの建設機械が所狭しと展示され、お客様に対しご注文を頂く様積極的に説明や売込みを繰り返す行い、場内は熱気と

活気で大盛況となりました。特設ステージに於いては二日間とも歌謡ショーが行われ、お客様の座る椅子が足りなくなる程で社員の方々も対応に大忙しの様でした。また各メーカーコーナーに於いても大量にご注文を頂き、ご成約の札が次々と貼られ、太鼓による威勢の良い手締めが何回も場内に響きわたり、改めて宇建さんの営業力を感じさせられた次第です。

三笠製品も新製品のランマー、プレートやバイプロコンパクター、ローラー、高周波バイブレーター等々多数のご成約を頂き大変盛況な展示会でありました。今後の(株)宇建様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

北関東課 高橋記



大曲土木工機(株) (資)丸三リース 新社屋落成の祝賀展示会



秋田県の永年のお取引先である大曲土木工機株式会社、合資会社丸三リース(社長・三浦英司氏)さんに於かれましては、この度待望の新社屋を落成され、それを記念して展示会と祝賀会を開催された。

新社屋は大曲市の郊外といっても国道13号線大曲バイパス沿いの大変利便性の良い場所に建設され、敷地総面積6,600㎡(約2,000坪)の中に二階建ての店舗兼事務所と鋼材関係の倉庫、そして丸三リースさんの事務所兼倉庫がそれぞれ独立して建築され、それぞれのお客様が出入りし易いように配置され、駐車場も大型トラックが充分に駐車できるようにスペースを配分され、全体的にゆったりとした印象とともに機能的に配置されているように感じられた。

お客様へのお披露目を兼ねた展示会は11月15日、16日の両日メーカー、商社約50社の協賛で開催され、この季節日本海側地方の時雨模様にもかかわらず大勢のお客様がお祝いに来場され、各コーナーともご祝儀を兼ねた売約済の声で賑わった。また展示会終了後場所を移して大曲市内のホテルで新築落成記念祝賀会が催され三浦社長のお人柄により各界各地の方々が勢揃いにお祝いに参じ、華やいだ中にも和やかに祝宴が続いた。

大曲土木工機(株)さんと(資)丸三リースさんの今後益々のご発展を祈念いたします。

仙台営業所 小笠原記